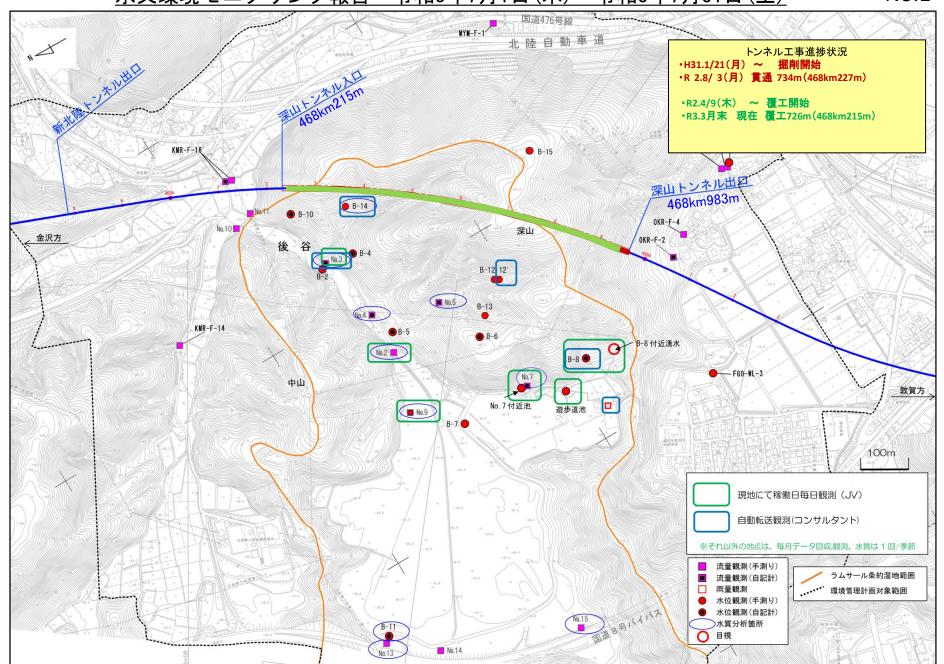
深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間:令和3年7月1日(木)~令和3年7月31日(土)

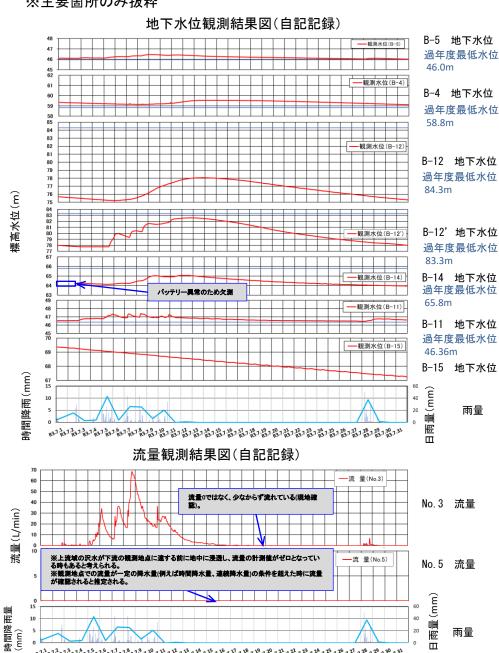
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



水文環境モニタリング観測地点図

水文環境モニタリング報告 令和3年7月1日(木)~令和3年7月31日(土)

※主要箇所のみ抜粋



	<u> </u>
	□目立った変動なし ■やや変動あり
	□変動あり(注意体制への移行を検討)
-	期間中の地下水位低下量
	■1m未満ないし増加:下記以外すべて
	■2m未満:B-15 □5m未満 □5m以上
-	期間中の流量低下量
	■50ℓ/分未満ないし増加:すべて □50ℓ/分以上
	期間中のpH変動量
	■0.5未満:B-8,B-12 □0.5以上 □1以上
	<u>日降水量</u>
	□15mm未満 ■15mm以上:5日 □50mm以上
	月降水量

概要

 \wedge μ

■水位変動について

(Î)B-4(自記水位計):期間前半からの降水、29日の降水に明瞭な反応を示さない。水位は期間 を通しては概ね一定となる。

□80mm未満 □80mm以上 ■130mm以上 □200mm以上

②B-6(自記水位計):期間前半からの降水、29日の降水に対して明瞭な反応を示さない。水位 は期間の中間で一時的に上昇する。その後は緩やかな低下傾向を示す。

③B-12(自記水位計):7/5の降水以降で水位は一時的に上昇するが、期間末にかけて低下傾向 を示す。引き続き過年度最低値を下回っている。今後も注視していく。

④B-12 '(自動転送):7/5の降水以降で水位は一時的に上昇するが、期間末にかけて低下傾向 を示す。過年度最低値を下回る。期間末まで水位は低下傾向にある。引き続き過年度最低値を 下回っている。今後も注視していく。

⑤B-14(自動転送):7/5の降水以降で水位は一時的に上昇するが、期間末にかけて低下傾向 を示す。過年度最低値を下回る。期間末まで水位は低下傾向にある。引き続き過年度最低値を 下回っている。今後も注視していく。

⑥B-15(自記水位計):期間中の降水に明瞭な反応を示さない。期間中を通して水位は低下傾向

⑦No.3(自動転送)期間中の降水で流量が一時的に増加したがそれ以降は減少傾向である。

⑧No.5(自記): 6/4に0.84L/minと若干量の流量を確認したが、それ以外は流量0となる。

⇒少雨や大雨の数日後の状況として、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地 中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている状況がある。

⇒観測地点での流量が一定の降水量(例えば時間降水量、連続降水量)の条件を超えた時に流 量が確認されると推定される。

■降水量について

- ①日最大降水量: 7/5の43.0mmである。
- ⇒6月の日最大降水量は44.0mmであった。
- ②月前半の降水量:196.0mmである。 ⇒6月の月降水量は90.0mmであった。